

苫小牧市美術博物館実施計画
第3期（令和2～4年度）

令和2年3月

苫小牧市教育委員会
教育部美術博物館

苫小牧市美術博物館実施計画（3期目）

1 3期目の実施計画策定にあたって

苫小牧市美術博物館は、博物館と美術館の連携した複合施設として、苫小牧市の地域の自然や歴史、文化を発信する「知の拠点」を目指し、平成25年に上記の基本構想や基本計画に基づいて「苫小牧市美術博物館実施計画（3か年計画）」を定めました。

1期目(2014-2016)は、新しくスタートした美術博物館の活動に多くの市民の方々にご参加いただき、その魅力を発信する期間、2期目(2017-2019)は1期目の活動をさらに広げていく期間としました。

1期目、2期目の実施計画の総括としては、複合施設の特色を生かした特別展や企画展、イベントが実施されたことで、幅広い分野、年齢、ニーズに対応でき、入館者数を大幅に増加させることができたこと、アウトリーチや共催事業、学校連携事業が増え、外部機関との連携やネットワークが強化されたこと、研究支援団体の増加やボランティアが育成され、市民協働のしくみが形作られてきたことなどがあげられます。一方、課題としては、複合施設としての特徴を活かした常設展示の更新・強化、調査研究事業の推進、市民がより深く学ぶための教育普及事業の内容の充実、所蔵資料の保存、整理のための環境づくり等があげられます。

3期目(2020-2022)は、こうした課題の解決と社会状況を見極めながら、広げた活動を深めていく期間として、以下の活動方針を定め、その方針を果たしていくための計画を策定します。

2 活動基本方針

当館では地域に関わる資料を中心に収集し、次の世代へ守り・伝えることはもちろん、市内外からより多くの人々が集い、交流する場となることを目指します。

また、学芸員の専門性を生かした調査研究を行い、資料や地域に関わる知見を充実させ、質の高い美術博物館となるよう努力をします。

そして、外部機関や市民団体とのネットワークを強化し、幅広い活動を行うとともに、子どもたちや市民が知的好奇心や自然・文化芸術への学びを深め、開かれた、魅力ある美術博物館として3つのテーマを設定します。

(1) あつめる

苫小牧周辺地域を中心に、自然、考古、歴史、文化と美術に関わる資料を収集し、収蔵資料を充実させます。

(2) そだてる

未来を担う子どもたちの知的探究心と感性を育てます。また、幅広い年齢層の市民が学び成長する場を作り、美術博物館の事業に関連した地域課題の解決に貢献する次の世代の担い手を育てます。

(3) ひろがる

収蔵資料に関する調査研究、資料の保管・整理を行い、その成果を展示事業や各種の広報媒体等を用いて公開、発信していきます。

市民及び各種機関と協働し、幅広いネットワークを築き、複合施設として多角的な事業を実施します。

3 事業活動計画

(1) 展示事業

【方針】

博物館と美術館の複合施設として、双方の特性を生かした事業を実施します。また、常設展の更新計画を策定し、収蔵展示室や展望ロビーを活用した定期的な展示更新やアイヌ文化関係の展示を更新します。企画展・特別展については、他都市館園や地元企業、外部機関と連携し、充実した展示事業を展開していきます。

【令和2～4年度の3か年計画】

① 特別展

○ 令和2年度

- ・「生誕100年 | ロボットと芸術～越境するヒューマノイド」

会期 令和2年7月18日～9月13日

○ 令和3年度

- ・「発掘された日本列島展2021」

会期 令和3年夏季

○ 令和4年度

- ・「トヨタ自動車北海道株式会社創業記念30周年事業特別展」

会期 令和4年夏季

② 企画展

○ 令和2年度

- ・「水と生命 ～川と生き物のつながり～」

会期 令和2年4月29日～6月21日

- ・「八王子千人同心と蝦夷地」

会期 令和2年10月10日～12月13日

- ・「紙とアート：吉田傑のダンボールといきもの」

会期 令和2年10月10日～12月13日

- ・「総天然色！考古資料のあざやかな世界」

会期 令和3年1月9日～3月7日

○ 令和3年度

- ・コイノボリ大火と苫小牧消防史

会期 令和3年春季

- ・ウトナイ湖 うつりゆく自然とその未来

会期 令和3年秋季

- ・NITTAN ART FILE4

会期 令和3年冬季

○ 令和4年度

- ・所蔵アイヌ資料展

会期 令和4年春季

- ・童画展

会期 令和4年秋季

- ・郷土の画家展

会期 令和4年冬季

③ 収蔵品展・特集展示

所蔵資料や作品を中心として構成する収蔵品展や、作家や外部機関と連携した特

集展示を開催します。

④ 中庭展示

中庭空間を活用し、主に市内及び道内で活躍する作家の立体作品を個展形式により紹介します。

⑤ 常設展示・収蔵展示室

- ・アイヌ文化への理解を促進する展示の更新
- ・高齢者に寄り添う回想法を導入した展示の設置
※回想法＝懐かしい写真や道具などを用いて対象者の心を活性化させる高齢社会に向けた取り組み
- ・楽しく学びながら館内を巡る学習教材等の設置
- ・くつろぎながら観覧できる2階展望ロビー展示の設置、更新
- ・収蔵資料を活用した収蔵展示室の更新

(2) 教育普及事業

【方針】

子どもから高齢者まで、幅広い市民を対象にした各種講演会、講座、ワークショップなど多彩な事業を実施します。

また、各種プログラムの見直しを図りながら、学校教育との連携を強化し、子どもたちの学習意欲や豊かな心を育みます。さらに次世代の担い手を育てるため、市民がより深く学べる場づくりの検討を重ね、事業全体を柔軟に見直ししながら、単年度計画に反映していきます。

【令和2～4年度の3か年計画】

従来の教育普及事業を「知るプログラム」「学ぶプログラム」「学校連携プログラム」に分け、幅広い市民を対象にした多彩な事業を実施します。

① 知るプログラム

初めて美術博物館を訪れる人やイベントに参加する人を対象に、体験を中心としたイベントを企画し、参加者の興味関心を広げる機会を充実させます。

- ・美術博物館祭
- ・無料観覧日(5/5 ゴーゴーミュージアム、11/3 秋のあみゅーサンクスデー)
- ・ミュージアムラボ
- ・企画展・特別展関連事業（講演会、ギャラリートツアー、ワークショップ等）
- ・中庭展関連事業

② 学ぶプログラム

美術や博物のことをより深く学びたい人を対象に、当館学芸員や主に道内で活動する専門家を招聘したプログラムを、1年間を通して行います。

- ・美術博物館大学講座
- ・こども広報部「びとこま」
- ・歴史見学会
- ・自然観察会
- ・古文書読解講座
- ・遺跡報告会

③ 学校連携プログラム

学校と連携し、学生向けの学習プログラムを展開します。また、修学旅行・研修等の利用を促進し、学校との連携を活発に行い、地域の子どもたちへの教育に貢献する館の活動を展開していきます。

- ・郷土学習
- ・アウトリーチ事業「みゅーじあむ in スクール」
- ・教員のための博物館の日(共催：国立科学博物館)
- ・総合学習の対応、職業体験の受入、社会科自由研究発表会、学芸員実習など

④ その他教育普及事業

- ・各種出前講座、講師派遣事業
- ・資料貸出、展示解説
- ・学芸員相談コーナーの対応など

(3) 資料の収集、保存方針

【方針】

- ① 館内の環境について、改善すべき点を計画的に対処します。
- ② 苫小牧周辺地域の資料を収集し、適正な管理の下に保存します。
- ③ 「苫小牧市美術博物館資料収集要綱」及び「苫小牧市美術博物館資料収集方針」に定めた基準により資料を収集・保存します。美術資料については、「美術資料受入基準」を別に定め、収集の対象とする作品及び作家の基準を明確にします。また、要綱に「資料収集委員会」の設置について定め、必要に応じて審議を行います。

【令和2～4年度の3か年計画】

- ① 方針に基づいて資料を収集・保管します。
- ② 資料のデジタル化、データベース化に努め、積極的にデータの公開に努めます。
- ③ 各資料に応じた保存環境の整備及び資料整理を計画的に実施します。

(4) 調査研究活動

【方針】

自然、考古、歴史、文化芸術に関する基本的な調査研究のほか、収蔵する資料に必要な調査研究活動を行います。

- ① 収蔵資料に関する調査研究を推進します。
- ② 樽前山麓および勇払原野を中心とした、苫小牧周辺地域に関する調査研究を行います。
- ③ 大学などの高等教育機関や、他都市館園などと連携を深め、グローバルな視野で苫小牧の発展に寄与する調査研究を行います。

【令和2～4年度の3か年計画】

- ① 郷土の自然、考古、歴史及び美術に関する調査研究のほか、収蔵する資料に必要な調査を行います。
- ② 自然、考古、歴史、美術の各学芸員の調査研究計画を、各年度当初に定めます。

(5) 広報・CS*向上の推進

【方針】

- ① さまざまな広報媒体を用いて、わかりやすい情報を広く発信し、利用者の増加に努めます。
- ② アンケートの実施などにより、利用者のニーズを把握し、利用しやすい環境を整えます。

(※CS=Customer Satisfaction 「顧客の満足度」)

【令和2～4年度の3か年計画】

- ① 各展示会のポスター、チラシを作成し、効果的な配布を行います。(各施設、教育機関、交通の要衝、店舗、ホテルなど)
- ② 館の事業、イベントのお知らせ、学芸員の取り組みなどを、各メディア、当館の公式ホームページ、Facebook、Twitter、美術博物館だよりなどで定期的に発信します。
- ③ 苫小牧市の公式 Facebook 及び庁内掲示板への情報提供や、新聞・テレビなど各メディアの利用を積極的に行います。
- ④ アンケートの実施と分析をします。
- ⑤ 外国語資料及び案内看板等の作成に取り組みます。
- ⑥ 各種印刷物を刊行します
 - ・館報、紀要、美術博物館だより
 - ・展示ガイド
 - ・各種インフォメーション
 - ・年間スケジュール

(6) 展示室貸出事業

【方針】

第1、第2、第3展示室を、期間を決めて、市内で創作活動を行う個人や団体の創作発表の場として市民に提供します。

【令和2～4年度の3か年計画】

「苫小牧市美術博物館展示室貸出基準」に基づき、時期、期間の見直しを行いながら展示室をより効果的に活用していただくよう努めます。

(7) 市民協働

① 調査研究支援団体の育成と連携

【方針】

「苫小牧市美術博物館調査研究支援団体登録要綱」にもとづいて館に登録している「調査研究支援団体」と連携し、活動に必要な事業や研修を支援します。

【令和2～4年度の3か年計画】

共催で各種事業を展開します。

② ボランティアの育成と連携

【方針】

館の円滑な事業の推進を図り、多くの市民の学習支援を行い、市民と協力・協働

する美術博物館を目指します。

【令和 2～4 年度の 3 か年計画】

ボランティア登録要綱にもとづき、登録ボランティアの各種研修、メニューの充実などを行い、活動推進の強化を図ります。

③ 地元企業・NPO法人等との連携

【方針】

地元企業やNPO法人等と連携した展示事業や教育普及事業を推進します。

【令和 2～4 年度の 3 か年計画】

地元企業や各種団体、NPO法人を通じた情報を積極的に取り入れ、展示事業や教育普及事業推進のための連携を深めます。

(8) 埋蔵文化財の保護

【方針】

市内で開発行為を行う土地、または開発が予想される地域において、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の有無の確認、またはその内容を把握するための発掘調査など、埋蔵文化財保護に関する業務を行います。

【令和 2～4 年度の 3 か年計画】

通年で遺跡のパトロールや文化財保護法に基づく事前協議・調査・立会などの業務を行います。

(9) 苦小牧市史編さん事業

令和 5 年度の新「苦小牧市史」発行に向けた、編さん事業の取り組みを行います。

4 管理運営体制

【方針】

複合施設の美術博物館として、施設の安全面と、市民の利便性を考慮して、使いやすい施設を目指します。

【令和 2～4 年度の 3 か年計画】

各事業を推進する学芸員とコミュニケーションをとりながら、然るべき管理運営を行います。

5 計画の進行管理および評価

- (1) 本計画の進行状況を確認するために「苦小牧市美術博物館自己点検評価」を作成し、独自評価を行います。評価の結果については、有識者や市民の視点を取り入れるため、美術博物館協議会に二次評価を依頼し、その結果を受けて計画を見直します。
- (2) 計画の期間は令和 2 年度から 4 年度までの 3 年間とします。ただし、策定後の社会情勢や美術博物館を取り巻く環境の変化などにより、見直しが必要となった場合は、計画及び目標の見直し及び修正を適宜行います。